

六福村
LEOFOO VILLAGE



ハイブリッド・レジャーランド
東武動物公園

2024年10月30日

東武動物公園が台湾 六福村テーマパークと 友好交流協定を締結

～遊園地・動物園がひとつとなったテーマパーク同士の交流により共に発展を目指します～

東武鉄道株式会社
東武レジャー企画株式会社
六福村テーマパーク

東武鉄道（本社：東京都墨田区）のグループ会社である東武動物公園（東武レジャー企画、本社：埼玉県宮代町）と台湾の六福村テーマパーク（六福旅游集団、本社：台湾台北市）は、2024年10月30日（水）に友好交流協定を締結しました。

東武動物公園では、2020年に姉妹動物園提携を締結した台湾の新竹動物園から紹介を受け、六福村テーマパークと「種の保存」を目的としたミナミシロサイの搬入を計画し、東武鉄道台北事務所と連携のうえ、2021年に同種のメス（エマ）が入園しました。これを契機とし、両園での相互PRや視察、六福村テーマパークにおけるワークショップへの獣医師の派遣等、交流を深めています。また、東武グループでは『中期経営計画2024～2027』の中で重点戦略である「成長をけん引する事業の確立」として、インバウンド中心の「観光事業」を中核事業に置いており、本協定により日台相互の送誘客が期待できるものとして、今般協定を締結する運びとなりました。

東武グループでは、東京スカイツリー®と台北101の友好関係締結を始めとし、東武ワールドスクウェアが台北101を展示物として設置、東武鉄道が台湾鉄道と友好鉄道協定を締結したほか、台北メトロとは誘客に繋げる相互PRを開始するなど、台湾との観光友好関係を築いています。このたびの友好交流協定の締結により、遊園地・動物園がひとつとなったテーマパーク同士の交流を図り、様々な取り組みを通じて、両園の発展を目指すとともに、日本と台湾の交流人口増加に寄与していきます。



△左：六福村テーマパーク 総経理 葉忠岳、右：東武レジャー企画(株)取締役社長 石附栄一
[撮影：2024年10月30日 六福村テーマパーク]

台湾 六福村テーマパークとの友好協定締結について

1 締結内容

双方の協力関係を構築し、動物飼育、保護、パークのマーケティング、及び教育活動などに関する経験の学習、交流および協力を促進することを目的とし、双方の国際的な視野と発展を促進すべく協定を締結する。

2 締 結 日

2024年10月30日（水）

3 関連施策

- (1) 台北国際旅行博覧会（ITF）における締結記念キャンペーン
※東武グループ及び六福村グループ双方がブース出展
- (2) プロモーションの相互協力
- (3) 動物飼育、保護や教育活動などに関する経験の学習、交流および協力他

以 上

<参 考>

〔六福村テーマパークについて〕

台湾新竹市にある国内唯一のサファリパークに遊園地・プールからなる、敷地面積約75haの総合テーマパーク。施設内は4つのテーマビレッジを有し、季節ごとに様々なセレモニーイベントを実施するほか、サファリパークでは絶滅危惧種動物の保全啓発活動やシロサイの観察ツアーなども行っている。

〔ミナミシロサイ「エマ」について〕

動物種：ミナミシロサイ

名 前：エマ

性 別：メス

生年月日：2015年12月18日

搬入日：2021年6月8日

展示場所：東武動物公園内

アフリカサバンナ シロサイ展示場



〔東武鉄道台北事務所について〕

2016年10月に開設以降、現地拠点として、現地メディアに向けた情報発信や旅行博覧会への出展など、台湾のお客様に対しダイレクトに当社沿線やグループ施設の魅力を発信している。さらに現地企業との連携により、自社グループのみならず、日本と台湾の相互送客に取り組み、より一層の観光交流の活性化を図っている。

〔東武グループの主な取組み〕

- | | |
|----------|---------------------------|
| 2013年 5月 | 東京スカイツリー・台北101が友好関係を締結 |
| 2015年10月 | 東武ワールドスクウェアにて台北101の展示物を設置 |
| 2015年12月 | 東武鉄道・台湾鐵路管理局が友好鉄道協定を締結 |
| 2024年 9月 | 東武鉄道・台北メトロが観光旅行事業協力覚書を締結 |

以 上